

# 瀬田川プランクトン調査結果速報

滋賀県立衛生環境センター  
平成12年2月28日 第48報  
水質科

## 植物プランクトン

(綱) 種 名	細胞数 (群体数)	優占種(占有率)	
		数	体積
(黄鞭) <i>Chrysamoeba radians</i>	20		
(黄鞭) <i>Mallomonas akrokomos</i>	10		
(珪) <i>Melosira varians</i>	20		
(珪) <i>Cyclotella glomerata</i>	1700		
(珪) <i>Fragilaria crotonensis</i>	59		
(珪) <i>Fragilaria capucina</i>	55		
(珪) <i>Asterionella formosa</i>	18		
(珪) <i>Synedra acus</i>	10		
(珪) <i>Synedra sp.</i>	10		
(珪) <i>Cocconeis placentula var. leneata</i>	10		
(珪) <i>Navicula sp.</i>	10		
(珪) <i>Nitzschia acicularis</i>	60		
(珪) <i>Nitzschia sp.</i>	10		
(渦) <i>Peridinium berolinense var. apiculatum</i>	10		
(褐) <i>Cryptomonas sp.</i>	20		
(褐) <i>Rhodomonas sp.</i>	260		
(緑) <i>Golenkinia radiata</i>	120		
(藍) 藍藻綱	0	0.0	0.0
(黄) 黄緑藻綱	0	0.0	0.0
(黄鞭) 黄色鞭毛藻綱	30	1.2	1.9
(珪) 珪藻綱	1962	81.7	82.1
(渦) 渦鞭毛藻綱	10	0.4	1.0
(褐) 褐色鞭毛藻綱	280	11.7	9.5
(み) みどり虫藻綱	0	0.0	0.0
(緑) 緑藻綱	120	5.0	5.5
(他) その他のプランクトン	0	0.0	0.0
総細胞数	2402	総体積	8.22E+05
種類数	17	( $\mu\text{m}^3$ )	

- 注1) 細胞数の単位は(細胞/ml)  
ただし\*印の種は群体数(群体/ml)
- 注2) 優占種は が第1優占種、 が第2優占種  
数字は各綱ごとの占有率(単位:%)
- 注3) 細胞体積は、顕微鏡観察による画像から  
試験的に推定した概算値である。

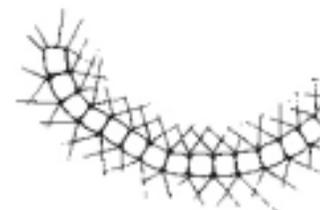
## 動物プランクトン

第 1 優 占 種	個体数 (個体/l)
輪虫類 <i>Polyarthra vulgaris</i>	80

第 2 優 占 種	個体数 (個体/l)
繊毛虫類 <i>Stokesia ventralis</i>	80

\* 個体数については、プランクトンネットで採取したものを直接検鏡して計測した。

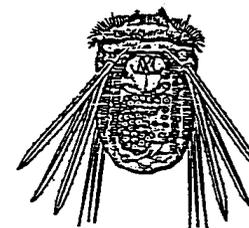
### 植物プランクトン第1優占種



***Cyclotella glomerata***  
(ヒメマルケイソウ)  
珪藻綱

殻面は円形でその直径は4~10 $\mu\text{m}$ と小さい。多数が鎖状に結合して群体を形成している。

### 動物プランクトン第1優占種



***Polyarthra vulgaris***  
(ハネウデワムシ)  
輪虫類

体は四角く、横に鳥の羽状の付属物が4ヶ所付いている。前部に2本の触角がある。

コメント:  
植物プランクトンは、引き続きキクロテラ グロメラータが最も多かった。キクロテラは、分類上は中心目珪藻の中のコスシノディスクス亜目タラシオシラ科に属しており、近い属にはステファノディスクス、スケルトネマ、タラシオシラなどがある。